

自分自身の気づき

「じぎのじ」の発見

おもっていたよりも：

一年

じぶんからすすんで手をあげる、ともだちや先生にあつたらえがおであいさつをするというめあてを、三学期のはじめにたてました。

二年

「ういごな」がびんあて

どちらかというところ、あまり算数はとくいなほうではありませんが、二年生になると、たし算やひき算のひつ算や、かけ算九九のべんきょうがはじまりました。「できるかな」ととてもふあんでした。でも、とにかく何回もれんしゅうしてできるようにならうと、がんばってみることにしました。

春休みは、もう一つにが手な国語の音読も毎日つづけてみようとおもいます。算数と同じ「けつこう音読とくいな」。

わたしのルール

三年

私の三学期の振り返りは、二つあります。

一つ目は、計算ドリルを計画通りに二回終わらせたことで、自分でルールを決めて、毎日取り組むようにしました。自学でこつこつやりつづけて、予定通り終わりました。

二つ目は、メディアの時間です。三学期が始まって読書にのめり込むようになりました。そのため、テレビやゲームをする時間が読書の時間になりました。お母さんからは、「すごいね。」とほめてもらいました。テレビを見る時間が少なくなったことで、目が疲れにくくなったという良いこともありました。

私は、時間の使い方のルールを決めたことで、「考える、親切にする、こつこつやる、一生けんめいやる」という「かしこい三年生」になれたと思います。四年生になったら、もつというるなことにチャレンジをして、がんばっていこうと思います。

今年一年間「みんななかよし四年生」をテーマにがんばりました。

今更ですが、何のために文章にまとめるのでしょうか？小学生は、書くことで自分自身の発見ができるかというと思います。

子供たちは、日々様々な体験の中で、発見（他のひと・もの・こと）をしています。その目に見える発見の裏側で、子供本人も気付かないうちに、自分自身の中でも大発見をしています。平成30年度最後の学校だよりの紙面を使い、子供たちの「自分の発見」を紹介します。

新潟県書き初め展

- 特選 6年
- 準特選 3年
- 準特選 3年
- 準特選 3年
- 準特選 1年

※先月号(13号)で記載もれがありましたので再掲載します。

このように、何でもチャレンジすること、よく食べよく寝てよく遊ぶことを一年間続けてがんばりました。そのことで、わたしの中には、たくさんの「できること」があることに気づきました。

もうすぐ五年生です。低学年や中学年、つまり、学校全体の手本になることが、できるためにも、めあてを決め、達成に向かっているように思います。「わたし」になりたいです。

二つの協力

五年

ぼく達五年生が三学期がんばったことは、書き初め大会や大なわ大会などいろいろありますが、一番は、六年生を送る会を成功させたことです。そこで学んだことは、二つの協力です。

一つ目は、一年生から四年生のみなさんの協力です。どうしてかという、練習をたくさんして、会を盛り上げてくれたからです。例えば、一、二年生のかわいいダンスや四年生のおもしろい劇です。三年生は、飾り付けもしてくれました。つまり、全校で六年生に感謝の気持ちを伝えられたことです。二つ目は、全校のまとめ役として、五学年全員の協力です。

校長先生がおっしゃられたように、ぼく達は、会を成功させるために、児童会だより「ひまわり」を使って、何回も職員室や各教室に行って説明をしました。ぼくは、寄せ書きのプロジェクトリーダーとして、話し合いをまとめ、全校にお願いしたいことを伝えました。一つ一つのことが積み重なって、六年生を送る会が成功したのだと思います。

工夫を出し合う各学年の協力、そして、それらをリーダーとしてつなぐための協力を続けていきたいです。

心の背筋をのばす

六年

小学校生活を振り返り、この一年間で成長できたことが二つあります。

一つ目の成長は、礼儀です。礼儀とは、相手に敬意を表す作法です。僕は特にあいさつを大切にしました。僕が所属している野球チームでもあいさつは大切にされています。練習はあいさつに始まり、あいさつで終わります。僕自身、これまで人を見かけてもあいさつをしなかったことがありました。そこで、今年は計画委員になったことをきっかけに、積極的に

だれにでもあいさつをするように心がけました。あまり丁寧にあいさつをしてこなかった地域の人たちにもあいさつしてみると、なんだか清々しい気持ちになることを実感できました。これは、相手に敬意を表す時、自分の「心の背筋」も一緒にびんと伸びるからだと思います。四月から始まる中学校生活では、先生方や先輩に対して正しい敬語を使うことにも気を付けたいです。

二つ目の成長は、集中力です。僕は集中が続かず、一つの課題を終わらせるのに時間がかかることが多くありました。学習ドリルなどの提出でも、提出期限が過ぎてしまうことがありました。今年は、一つ一つのことに集中し計画的に取り組むようにしました。集中することで、同じ作業でもより短時間で終わらせることができました。短くても「すきま時間」を活用することで、さらに効率的に作業を進めることができました。中学校での学習は質も量も大変なと思います。集中して計画的に取り組む習慣を続けていきたいです。

このように、この一年間で、礼儀や集中力を身に付けることができました。実りある中学校生活を送ることができるよう、努力を重ねていきます。

「笑顔でペこり」～いつでも どこでも ひとりでも できるまで～

全校で取り組む「須田小全校交通安全運動「笑顔でペこり」について、校外須童会の際に反省をしよう場を持ちました。

この取組には、「歩行者」と「運転者」の2つの視点で物事を考え、行動できる力を付けてほしいという願いが込められています。

つまり、「歩行者」として、自動車が止まったことを確認するくらい的心持ちで行動できるようになってほしいです。また、「未来の運転者」として、道路を歩行者といっしょに使うという謙虚さをもってほしいということです。

今後も、常に意識して生活できるよう、指導を続けてまいります。

かえ かい 帰りの会の 須田小 笑顔でペこり

・ 須田小 笑顔でペこりをしましょう

・ きりつ となりのひとと向き合みましょう

・ 手を上げて 右左右をしっかりと見ましょう

・ 車がとまりました。笑顔で感謝の気持ちを表しましょう

・ すばやく、渡って、もう一度、笑顔で感謝の気持ちを表しましょう

いつでも どこでも ひとりでも 須田小 笑顔でペこり を忘れません

※「放課後の帰りの会には、交通安全の「合い言葉」として確認しています。

